資料４

第５次播磨町総合計画

基本計画　素案

令和２年９月 25 日　長期総合計画審議会

目次

基本政策１_誰もが安心して安全に暮らせるふるさと……1
方向性１　安心して暮らせるまちへ（保健・福祉）……2
1.地域福祉の充実……2
2.健康づくりの推進と地域医療体制の充実……4
3.子育て支援の充実……6
4.高齢者福祉の充実……8
5.障がい者福祉の充実……10
6.健全な保険制度の運営……12
方向性２　安全に暮らせるまちへ（防災・防犯）……14
1.消防・防災体制の強化……14
2.防犯対策の充実……16
3.消費者安全の推進……17
4.交通安全対策の充実……18
基本政策2_身近な自然環境と快適な住環境が調和したふるさと……19
方向性１　うるおいのあるまちへ（都市基盤・住環境）……20
1.市街地の整備……20
2.公共交通の維持・確保……22
3.道路・交通ネットワークの維持・整備……23
4.上・下水道の整備……25
5.バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進……27
6.公園緑地と水辺環境の保全……29
7.生活環境の向上……31
8.ごみの減量・リサイクル活動の推進……33
方向性２　活力のあるまちへ（産業・就業）……34
1.農漁業の振興……34
2.商工業の振興……35
基本政策３_多様な個性と夢をみんなでつなぐふるさと……36
方向性１　人を育むまちへ（教育・文化）……37
1.子どもたちの学びの充実……37
2.生涯学習の充実……39
3.歴史・文化遺産の保存と活用……41
4.多文化共生・人権教育の推進……43
方向性２　人がつながるまちへ（協働・行政）……45
1.地域活動の活性化と住民協働の推進……45
2.健全な行財政運営……47

基本政策１

誰もが安心して安全に暮らせるふるさと

方向性

１．安心して暮らせるまちへ（保健・福祉）

２．安全に暮らせるまちへ（防災・防犯）

１.地域福祉の充実

ビジョン　**誰もが地域で支え合い、安心して暮らせるまちづくり**

住民一人ひとりの福祉意識を高め、互いに支え合い助け合うことのできる人間性あふれた、地域共生社会の実現をめざします。

現状の問題・課題

◇地域福祉を推進するために、多様な関係機関と計画的に進めていく必要がある。

◇相談内容が複雑化し、個人情報保護等の観点から関係機関での連携が困難なケースが増加している。

◇ボランティア参加者が高齢化、固定化しており、新たな担い手を育成する必要がある。

◇少子化や核家族化、自治会未加入者の増加などにより、地域における連帯意識が希薄になり、地域福祉活動の停滞、担い手が不足している。

◇引きこもりで就労経験がない等複合的な課題を抱えた生活困窮者への包括的、継続的な支援が必要とされている。

基本目標

目標１　包括的・総合的相談支援に係る体制を構築する

複雑･多様化した住民課題に的確に対応するため、個人情報の保護等に配慮しながら制度ごとの相談支援機関の連携を図り、誰もが安心してできる包括的･総合的な相談支援体制の整備･構築を進めます。

目標２　住民相互の助け合いを推進する

誰もが地域で安心して生活するために、住民参加による地域での見守りや支えあいの仕組みづくりを推進します。また、民生委員･児童委員など、地域における福祉の担い手の確保へ向けた支援を強化します。

目標３　権利擁護支援体制を強化する

判断能力が十分でない高齢者や障害者の権利を守るため、社会福祉協議会等と連携し、成年後見制度の普及･啓発を図るとともに、利用促進を支援します。

分野における住民満足度

地域での支え合いの満足度	現状（2019）
	51.6 点

UP

ビジョン

誰もが地域で支え合い、安心して暮らせるまちづくり

関連計画

□播磨町子ども・子育て支援事業計画
□播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画
□播磨町障害者計画
□播磨町障害福祉計画・播磨町障害児福祉計画
□播磨町自殺対策計画
□播磨町成年後見制度利用促進実施計画

２.健康づくりの推進と地域医療体制の充実

ビジョン　いきいきとみんなで健康に過ごせるまちづくり

住民一人ひとりが自身の健康状態に応じた健康づくりに取り組むことで、心身ともに健康に過ごせるまちづくりをめざします。

現状の問題・課題

◇平均寿命と健康寿命が県と比較して短い。

◇特定健診やがん検診等を毎年受けている人や時期をあけて受けている人・全く受けていない人など、自身の健康状況の把握や健康づくりに取り組むことに興味を持っている人と持っていない人の二極化が進んでいる。

◇特定健診やがん検診等の結果で、受診が必要な状況であっても受診しない人や適切な時期に適切な医療を受けていない人が一定数いる。

◇新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症のような新興感染症が発生した場合、迅速な対応が必要である。

◇生活習慣病等の増加や多様な医療ニーズに伴い、医療機関の負担が大きくなることで、現状の医療体制を維持できない可能性がある。

◇高齢者が抱える多様な健康課題に対応し、住み慣れた地域で自立した生活ができる期間を延伸、生活の質の維持向上を図る必要がある。

基本目標

目標１　健康寿命を延ばす

若い世代から自分自身の健康状態を把握することで、健康的な生活習慣を習得するとともに、健康づくりに取り組むための支援を行い、健康寿命の延伸に努めます。

目標２　地域医療の体制を維持する

かかりつけ医をもち、適切な時期に適切な医療に繋がることで、現状の地域医療体制を維持するとともに、休日や夜間の救急医療についても関係機関と連携しながら、救急医療体制の維持に努めます。

分野における住民満足度

健康づくり・地域医療の満足度	現状（2019）
	54.9 点

UP

ビジョン

いきいきとみんなで健康に過ごせるまちづくり

関連計画

- □はりま健康プラン
- □播磨町食育推進計画
- □播磨町特定健康診査等実施計画
- □播磨町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）
- □播磨町自殺対策計画

３．子育て支援の充実

ビジョン　**地域全体で安心して子育てができるまちづくり**

子育て世代を地域全体で見守り･支援することにより、子育てへの不安が軽減され、安心して子育てができるまちをめざします。

現状の問題・課題

◇少子化の進行、共働き世帯の増加、核家族など家族形態の変化、地域との繋がりの希薄化などにより、子育て世帯への支援が必要となっている。

◇貧困、児童虐待など支援を必要とする家庭が増加している。

◇安心して生み育てられる環境のさらなる充実が求められている。

基本目標

目標１　安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整える

妊娠早期から継続して支援を必要とする妊婦等を把握し、早期から支援することで、安心して妊娠･出産･子育てができる環境を整備します。

目標２　育児負担・育児不安の軽減、世代間交流の促進を図る

「子育て支援センター」「学童保育所」など各施設において、子育ての孤立化の防止、育児負担の軽減を図ります。また、各施設において積極的に地域との連携を図り、子どもと多世代との交流を促進します。

目標３　相談体制の充実を図る

児童虐待の発生を未然に防ぐために、子育てに関して相談しやすい環境をつくるとともに、県こども家庭センターなど関係機関との連携を図り、充実した支援を実施します。

目標４　保育の充実を図る

保育所等で実施する延長保育事業など多様な保育サービス、不足する保育士を確保するための取り組みに対する支援や補助を行うとともに、利用希望者等に対して保育に関する施設や事業を円滑に利用できるよう支援を行います。

分野における住民満足度

子育て支援の満足度	現状（2019） 60.3 点

UP

ビジョン

地域全体で安心して子育てができるまちづくり

関連計画

□播磨町子ども・子育て支援事業計画
□はりま健康プラン

４．高齢者福祉の充実

ビジョン　**高齢者がいきいきと地域で暮していけるまちづくり**

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう、介護・医療・介護予防・住まい・日常生活が一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」を強化し、高齢者を支える体制を構築するとともに、高齢者自らがいきいきと自分らしく地域で暮していける環境づくりを行います。

現状の問題・課題

◇医療、介護、介護予防、住まい、生活支援など、地域包括ケアシステムを構成する各分野において、取組を充実・強化する必要がある。

◇医療や介護を必要とする高齢者が増加している。

◇少子高齢化、核家族化が進み、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など、見守りや日常生活上の支援が必要な高齢者が増加している。

◇高齢化の進行とともに認知症高齢者が増加している。

基本目標

目標１　介護予防活動と高齢者の居場所づくりを推進する

住民主体の健康づくり体操など健康教室の充実により、介護予防に取り組む人を増やし、高齢者の健康寿命の延伸を図るとともに居場所づくりを推進します。

目標２　認知症高齢者の相談・支援体制を強化する

認知症高齢者に対する身近な地域での見守り・支援活動をさらに促進するため、認知症サポーター養成講座などの開催により、認知症の正しい知識・理解の普及啓発に努めます。また、地域での見守りネットワークの体制を強化することで、認知症の人の早期発見・早期支援を促進します。

目標３　高齢者の見守り体制の強化・推進を行う

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように、地域で助けあう「地域包括ケアシステム」の構築をめざします。地域での支えあいを推進するとともに、医療・介護・福祉関係者との連携を強化し、一体的に提供できる体制づくりを推進します。

目標４　高齢者の生きがいづくりを推進する

高齢者自身が地域社会の中で自らの経験や知識を生かし、積極的な役割を果たしていけるよう、ボランティア活動など住民主体の生きがいづくりを推進します。

分野における住民満足度

高齢者福祉の満足度	現状（2019）
	52.8 点

UP

ビジョン

高齢者がいきいきと
地域で暮していける
まちづくり

関連計画

□播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画

５．障がい者福祉の充実

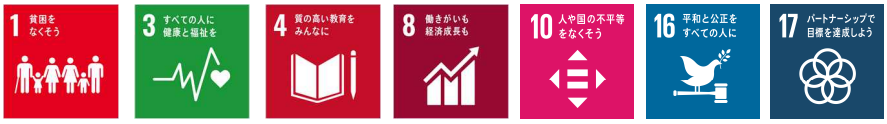
ビジョン　**誰もがともに支えあい、くらす共生のまちづくり**

障がいのある人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し、地域で支えあいながら共に生きることのできる環境づくりを行います。

現状の問題・課題

◇障がいに対する理解促進を図る必要がある。
◇障がいのある人の重度化・高齢化、「親亡き後」の支援体制づくりが求められている。
◇障がいのある人が抱える生活課題や支援ニーズが多様化・複雑化している。
◇障がいのある人の地域社会への参加の促進を図る必要がある。
◇障がいのある人への虐待防止のための体制づくりが必要である。

基本目標



目標１　相談しやすい環境をつくる

障がいのある人や支援者に対し、総合的、専門的な相談体制を構築し、相談しやすい環境を作ります。

目標２　雇用・就労の支援を行う

障害者就業・生活支援センターやハローワーク等と連携し、一般企業への就労を支援するとともに、一般就労が困難な障がい者には、就労支援施設などの利用を促進し、就労機会の拡大を図ります。

目標３　障がいのある人の地域社会への参加を促進する

障がいのある人の生活圏の拡大及び社会参加の促進を図ります。

目標４　障がいのある人を地域全体で支える体制づくりを行う

障がいのある人が住み慣れた地域で、できるかぎり自立と社会参加を果たしながら安全に暮らせるよう、地域生活支援拠点（体制）の整備を行います。

分野における住民満足度

障がい者福祉の満足度	現状（2019）
	50.8 点

UP

ビジョン

誰もがともに支えあい、
くらす共生のまちづくり

関連計画

□播磨町障害者計画

□播磨町障害福祉計画・播磨町障害児福祉計画

６．健全な保険制度の運営

ビジョン　**健全かつ適正な保険事業をめざすまちづくり**

少子高齢化の進展に対応するため、持続可能な社会保障制度の確立に努めます。

現状の問題・課題

◇後期高齢者の増加により介護給付費や医療費の増加が見込まれるため、重度化防止等の保険者機能の強化が必要となっている。

◇国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の収納率を向上させるため、社会保障制度の理解に向けて継続した啓発活動を行う必要がある。

基本目標

目標１　適正な保険運営を行う

健診、健康教室、個別指導等、健康寿命を延ばす働きかけを行うとともに、介護・医療給付の適正化に努め、保険者機能の強化を図ります。

目標２　持続可能な保険制度を確立させる

住民に対して社会保険制度に関する知識の普及啓発を行うとともに、収納率を向上させ、財源確保に努めます。

目標３　介護保険制度を安定的に運営する

介護ニーズの増加に対応するため、サービス基盤の整備やサービスの質の向上を図ります。

分野における住民満足度

	現状 (2019)
健全な保険制度の運営の満足度	53.2 点

UP

ビジョン

健全かつ適正な保険事業をめざすまちづくり

関連計画

□播磨町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）
□播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画

１．消防・防災体制の強化

ビジョン　**災害に強い防災・減災のまちづくり**

「自らの命は自らで守る」を基本理念に、住民・地域・行政がそれぞれの立場において、最大の力を発揮することで、防災・減災のまちをめざします。

現状の問題・課題

◇気象状況や社会要因の変化により、規模の大小を問わず、様々な災害等が毎年のように起きている。

◇公助に偏重しがちな防災意識を、住民による自助・互助・共助の意識づくりに変えていく必要がある。

◇共に助け合うまちづくりの形成の中、自主防災組織の訓練・教育を推進する必要がある。

◇災害時の対応として、住民と行政それぞれによる役割も含めた備蓄を推進しなければならない。

◇様々な災害に対応していく避難所の適正な運営を図らなければならない。

基本目標

目標１　防災意識を高めるための啓発を推進する

個々の備蓄の推進や情報収集手段の確保など防災意識を高める啓発として、自主防災組織の研修や出前講座を実施します。

目標２　地域防災力を強化する

共助における地域の助け合いを図るとともに、訓練等に必要な支援・物品等の整備を進めることで地域防災力を強化します。

目標３　防災体制を充実させる

避難者等への備蓄、ライフライン確保のための施策、避難所の適正運営、危機管理体制の充実・強化を進めます。

分野における住民満足度

	現状 (2019)
消防・防災体制の満足度	51.9点

UP

ビジョン

災害に強い防災・減災のまちづくり

関連計画

□播磨町地域防災計画
□播磨町水防計画
□播磨町備蓄計画
□播磨町避難行動要支援者避難支援計画
□播磨町耐震改修促進計画
□播磨町国民保護計画
□播磨町国土強靭化地域計画
□播磨町業務継続計画

２．防犯対策の充実

ビジョン　犯罪のない安心して暮らせるまちづくり

地域住民一人ひとりの防犯意識を高めるとともに、地域と行政が犯罪防止のための環境整備を進め、安心して暮らせるまちをめざします。

現状の問題・課題

◇子どもの学校の登下校時に、犯罪に巻き込まれるケースが懸念される。

◇詐欺等による高齢者等への犯罪被害が増加傾向にあり、警察のみならず、行政も連携した対応が必要となっている。

◇地域における自主的な防犯活動への継続的な支援を求められている。

基本目標

目標１　犯罪発生をなくす

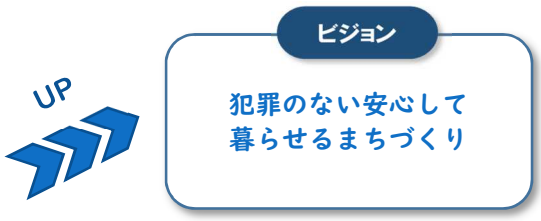
加古川警察署や防犯協会等の関係団体と連携しながら、犯罪発生抑制を図ります。

目標２　地域住民の防犯意識を向上させる

地域の犯罪防止を目的とし、地域と行政が共に防犯灯・防犯カメラの設置や防犯連絡所・「子ども１１０番の家」の設置等を推進することにより、犯罪の未然防止を図ります。

分野における住民満足度

	現状（2019）
防犯対策の満足度	51.5 点



３．消費者安全の推進

ビジョン　消費生活を安全に行えるまちづくり

複雑多様化し増加傾向にある消費者問題に対応するため、消費生活センターを設置し、相談窓口の充実を図ります。あわせて、被害を未然に防ぐため消費者教育を推進します。

現状の問題・課題

◇不特定多数に届く架空請求が横行している。
◇低年齢層のゲーム課金等のトラブルが増加している。
◇高齢者が被害にあった場合の被害額が増大になっている。
◇インターネット通信販売のトラブルが増加している。

基本目標

目標１　消費生活相談や啓発を推進する

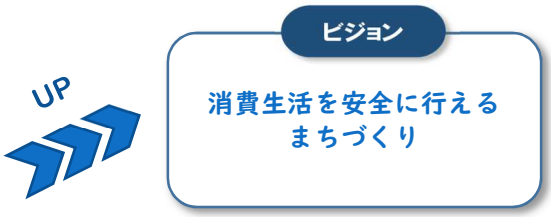
消費生活センターを中心に関係団体等とも連携し、相談や啓発を推進します。

目標２　あらゆる機会をとらえて消費者教育を推進する

学校と連携し、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした消費者教育に取り組みます。

分野における住民満足度

消費者安全の満足度	現状（2019）
	47.2 点



関連計画

□播磨町消費者教育推進計画

４．交通安全対策の充実

ビジョン　**交通事故ゼロをめざし、誰もが安全に暮らせるまちづくり**

学校園、住民等に対する交通安全啓発を図るとともに、自転車等の安全運転や高齢者の免許返納支援等の交通安全事業を推進し、交通事故のないまちをめざします。

現状の問題・課題

◇子どもや高齢者などの交通弱者の交通事故防止が求められている。

◇高齢者の交通事故増に対応するため、高齢者の免許返納や自転車通行の安全運転等を推進する必要がある。

◇道路や通学路の新設や住宅開発等によって生じる交通上必要な交通安全施設を引き続き整備する必要がある。

基本目標

目標１　交通事故を減らし、死亡者をゼロにする

加古川警察署や交通安全協会等の関係団体と継続的に交通安全啓発を図ります。

分野における住民満足度

交通安全対策の満足度	現状（2019）
	47.4 点

ビジョン

交通事故ゼロをめざし、誰もが安全に暮らせるまちづくり

基本政策２

身近な自然環境と

快適な住環境が調和したふるさと

方向性

１．うるおいのあるまちへ（都市基盤・住環境）

２．活力のあるまちへ（産業・就業）

１．市街地の整備

ビジョン　**安全で快適に暮らせるまちづくり**

住民と連携･協働による安全で快適な住環境の整備を進めるとともに、良好な市街地を形成するため適正な土地利用を進めます。

現状の問題・課題

◇住宅密集地区における狭あい道路の問題等、住民との連携･協働による地域の特性を生かしたまちづくりや土地利用が必要となっている。

◇空き家の増加が社会的な問題となっており、適切な管理がされていない空き家については周辺環境に悪影響を及ぼす可能性がある。

◇南海トラフ地震等の発生が想定されている中、地震時における住民の安全を確保するため、住宅等の耐震化を進める必要がある。

◇市街地内の宅地化が増加傾向により農地等が減少しつつあるため、量から質への転換が必要である。

基本目標

目標１　生活道路を整備し、日常生活の利便性を向上させる

住民と協働のもと住宅密集地区における狭あい道路の整備を推進します。

目標２　行政と地域住民が協働したまちづくりを推進する

住民のまちづくりへの意識の高揚を図るとともに、空家等の適正な管理について啓発を図ります。

目標３　安全で安心な居住環境の形成を図る

住宅の耐震化に関する啓発を行い、災害に強い地域づくりを進めます。

目標４　適正な土地利用及び有効利用を図る

土地の保全及び地籍の明確化を図るため地籍調査を推進します。

分野における住民満足度

市街地の整備の満足度	現状（2019）
	52.5 点

UP

ビジョン

安全で快適に暮らせるまちづくり

関連計画

□播磨町都市計画マスタープラン
□播磨町緑の基本計画
□播磨町空家等対策計画
□播磨町耐震改修促進計画

２．公共交通の維持･確保

ビジョン

地域公共交通を維持し、誰もが安心して外出できるまちづくり

地域公共交通（バス路線等）は、病院、買い物等の移動手段として欠かすことのできない交通手段であり、その利便性の向上と運行確保に努めます。また、誰もが安心して外出ができる移動手段の確保を図ります。

現状の問題・課題

◇地域公共交通の担い手である民間路線バスの多くの既存路線で赤字が常態化しており、その運行維持を図るためには、住民の利用率向上が求められる。

◇高齢者や障がい者、子育て世代など移動手段を持たない方々に対する円滑な移動の確保に向けて、本町に合う交通施策の検討を継続しなければならない。

◇広域的な公共交通ネットワークについて調査･研究を進めるため、近隣市町と連携する必要がある。

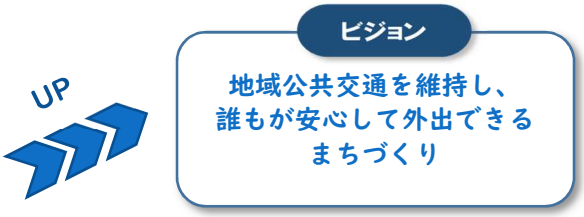
基本目標

目標Ⅰ　路線バスや鉄道等の公共交通の利用を促進する

地域公共交通を維持するために、様々な利用促進施策を行い、利用者の増加をめざします。

分野における住民満足度

	現状（2019）
公共交通の満足度	39.4 点



３．道路・交通ネットワークの維持・整備

ビジョン　安全な交通を確保したまちづくり

道路交通網の整備を進めるとともに、安全に通行できる道路の維持及び強靭化に努めます。また、港湾施設の整備については、引き続き関係機関に要請を行います。

現状の問題・課題

◇生活道路網の安全性の向上に努め、「災害に強いまちづくり」をめざすことが必要となっている。

◇人や自転車が安全快適に通行できるよう、道路･橋梁の整備改修などを計画的に進める必要がある。

◇整備済み都市計画道路周辺において、未整備道路の整備が必要となっている。

◇播磨臨海地域道路の整備が決定した中で、未整備の都市計画道路については、必要性や費用対効果等を検証のうえ、計画的な整備を検討する必要がある

◇工業港である東播磨港は、播磨臨海地域道路が計画されるなど、取り巻く環境が大きく変化していることから、必要な整備等について関係機関に要請する必要がある。

基本目標

目標１　計画的な道路改良や整備を推進する

道路舗装において、適切な管理水準を維持し効果的な修繕に努めます。

目標２　予防保全により道路橋の安全を確保する

老朽化が進む道路橋において、計画的な修繕を行うことで安全性の確保を図ります。

目標３　都市計画道路等の整備を検討する

播磨臨海地域道路のルート決定に伴い、改めて都市計画道路などの整備を検討する。

分野における住民満足度

道路・交通ネットワークの満足度	現状（2019）
	52.1 点

ビジョン

安全な交通を確保したまちづくり

関連計画

□播磨町橋梁長寿命化修繕計画
□播磨町舗装長寿命化修繕計画
□播磨町国土強靭化地域計画

４．上・下水道の整備

ビジョン　ライフラインの安定したまちづくり

安全かつ良質な水道水の安定的な供給に努めます。また、下水道を整備し、清潔で快適な環境づくりを進めるとともに、雨水幹線や雨水ポンプ場の整備など治水対策を推進します。

現状の問題・課題

◇創設期に整備した多くの水道施設の老朽化が進行している。
◇地震災害などに備えて上下水道施設の耐震化を推進する必要がある。
◇上水道施設の整備、更新のために必要な財源を確保するため、料金改定を検討する必要がある。
◇安定給水や経営の効率化を図るため、近隣市町との広域連携について積極的に取り組む必要がある。
◇下水道が未整備となっている区域がある。また、未水洗化世帯については、水洗化を促進していく必要がある。
◇近年、台風や集中豪雨などが多発しており、浸水被害のリスクが高まっている。

基本目標

目標１　老朽管の更新と管路の耐震化を計画的に行う

南海トラフ大地震などの災害に備えて、老朽管を耐震性能を有する管に布設替を行います。

目標２　計画的な施設整備と事業の平準化を行う

施設整備の時期に大きな偏りがあることから、将来を見据えて計画的に事業を実施します。

目標３　長期に渡り健全で安定的な経営に努める

老朽施設の更新費用が膨大なため、必要な財源確保を行い、長期を見据えた財政運営を行います。

目標４　下水道への理解を高める

未整備区域の整備を進めるとともに、水洗便所への改造の促進を図ります。

目標５　下水道による治水対策を進める

雨水幹線の整備を進めるとともに、浜田雨水ポンプ場の整備並びに本荘雨水ポンプ場の適正な維持管理に努めます。

分野における住民満足度

上下水道の整備の満足度	現状（2019）
	65.2 点

UP

ビジョン

ライフラインの安定したまちづくり

関連計画

□播磨町水道ビジョン
□播磨町水道事業経営戦略
□播磨町水道事業水質検査計画
□播磨町下水道事業経営戦略
□播磨町流域関連公共下水道事業計画
□播磨町下水道長寿命化計画（本荘雨水ポンプ場）
□播磨町国土強靭化地域計画

５．バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

ビジョン　**誰もが安心して暮らせるバリアフリーのまちづくり**

高齢者や障がいのある方、妊婦や子ども連れの方など、すべての人が移動に不自由なく、安全で快適に暮らせるまちづくりをめざし、公共施設や道路等のバリアフリー化を進めます。

現状の問題・課題

◇既設の施設については、改修時に順次バリアフリー・ユニバーサルデザイン化に配慮する必要がある。

◇ユニバーサルデザインへの認識を深めるために、継続した周知啓発が必要である。

◇バリアフリーの心を育てるために、小中学校での学習を進めるなど、共生社会の形成に向けた意識づけが必要である。

基本目標

目標１　すべての人が安全で快適に暮らせるようバリアフリーのまちづくりを進める

誰もが移動しやすく、利用しやすく、わかりやすいまちをめざし、バリアフリー化を推進します。

目標２　高齢者や障がいのある人を含むすべての人が暮らしやすい住環境づくりを進める

住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送れるよう住宅のバリアフリー化を進めます。

分野における住民満足度

バリアフリー・ユニバーサルデザインの満足度	現状（2019）
	50.6 点

ビジョン

誰もが安心して暮らせるバリアフリーのまちづくり

関連計画

□播磨町バリアフリー基本構想

6. 公園緑地と水辺環境の保全

ビジョン　**水と緑を生かしたうるおいのあるまちづくり**

公園･緑地、ため池など身近な自然環境を保全し、生活にうるおいとやすらぎをもたらすまちづくりを進めます。

現状の問題・課題

◇公園･緑地やため池など、水のネットワークの保全と適正な維持管理を行っているが、身近な水辺環境への理解を深める必要がある。

◇公園施設を安全に利用できるよう適切に更新する必要がある。

◇幅広い世代に環境保全意識を普及啓発する必要がある。

基本目標

目標１　緑に対する多様なニーズを踏まえ、公共空間の緑化や緑化意識の普及啓発を推進する

公園･緑地の適切な維持管理やイベント等を通じた緑のふれあいの確保を促進します。

目標２　目にふれる緑を増やし快適な環境を整備する

住民との協働により、まちなみ緑化を推進します。

目標３　水辺空間の保全や活用を図る

住民と協働した水辺空間の保全や活用に取り組みます。

分野における住民満足度

公園緑地と水辺環境の保全の満足度	現状（2019）
	56.5 点

UP

ビジョン

水と緑を生かしたうるおいのあるまちづくり

関連計画

□播磨町緑の基本計画
□播磨町公園施設長寿命化計画

7. 生活環境の向上

ビジョン　**生活環境を良好に保つまちづくり**

自然環境保全意識の普及啓発に努めるとともに、住民・事業者・行政が環境に対する責任と役割を理解することで、低炭素社会、自然共生社会をめざします。

現状の問題・課題

◇ごみのポイ捨て、犬のふん放置、騒音問題など、日常生活に起因する環境問題に対する住民一人ひとりの意識の向上が必要となっている。

◇事業活動等に伴う環境負荷に対し、すべての事業所等が自主的な行動をとる必要がある。

◇事業系廃棄物の不法投棄が増加しており、監視・指導体制の拡充・強化が必要となっている。

◇外来動植物の流入により、在来動植物への影響や農作物への被害が発生している。

◇地球温暖化による自然環境や生活への影響が深刻化する中、住民一人ひとりが生活スタイルの見直しや自然環境保全などに取り組むことが求められている。

基本目標

目標１　地球温暖化防止対策を推進する

住民のクリーンエネルギー利用を積極的に支援し、環境への負荷の少ない低炭素社会への転換を図ります。

目標２　生活環境の改善に係る活動を推進する

住民一人ひとりの環境意識の向上、生活環境の保全及び公衆衛生の向上をめざします。

目標３　子ども向けの環境学習機会を確保する

人と環境との関わりについて理解を深め、責任ある行動がとれる人づくりを推進します。

分野における住民満足度

	現状（2019）
生活環境の向上の満足度	52.0 点

UP

ビジョン

生活環境を良好に保つまちづくり

関連計画

□環境基本計画

8. ごみの減量・リサイクル活動の推進

ビジョン　**環境への負荷が少ない資源循環型のまちづくり**

限られた資源の有効活用と環境負荷の軽減を図り、資源循環型社会の構築をめざします。

現状の問題・課題

◇紙や布、ビンや缶などの資源ごみが可燃ごみや不燃ごみとして排出されていることがあり、資源化できていないものがある。

◇ごみの資源化、減量化を推進するために、ごみの分別について周知啓発を図る必要がある。

基本目標

目標１　ごみの減量化を推進する

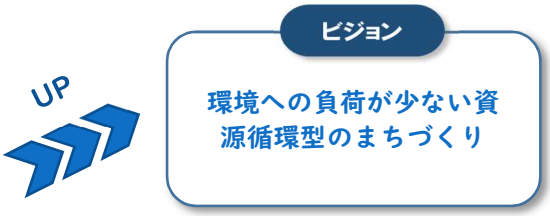
食品ロスの発生抑制等の取組を通して可燃ごみの減量化を図り、環境負荷の軽減をめざします。

目標２　古紙等のリサイクル率の向上を図る

資源回収を促進させることで資源の有効利用を図り、循環型社会の形成に努めます。

分野における住民満足度

	現状（2019）
ごみの減量・リサイクル活動の満足度	61.2 点



関連計画

- □環境基本計画
- □分別収集計画
- □一般廃棄物処理計画
- □東播臨海広域市町圏における循環型社会形成推進地域計画

1. 農漁業の振興

ビジョン　**地域の農水産を維持するまちづくり**

自然空間の保全や緑地等として農地を守り、農業の維持に努めるとともに、漁業においては、地場産物の流通拡大に向けて支援を行います。

現状の問題・課題

◇収穫や漁獲により収入を得るため、経営の安定化が図りにくい。
◇従事者の高齢化と後継者不足が進んでいる。
◇農水産物を地産地消できる体制が整っていない。

基本目標

目標１　農業・漁業従事者を支援する

農業･漁業従事者を支援し、経営の安定化を図ります。

分野における住民満足度

農漁業の振興の満足度	現状（2019）
	47.2 点

ビジョン
地域の農水産を維持するまちづくり

関連計画

□農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
□人･農地プラン
□機能保全計画書　阿閉漁港（第１種）
□機能保全計画書　古宮漁港（第１種）
□阿閉漁港海岸長寿命化計画書
□古宮漁港海岸長寿命化計画書
□播磨町アライグマ防除実施計画、播磨町ヌートリア防除実施計画

2. 商工業の振興

ビジョン　**地元産業の活性化を図るまちづくり**

商工会との連携により、地域の商業者の支援に努めるとともに、工業においては優遇措置や規制緩和等により工場の誘致や町外への流出を防ぎ、地元産業の活性化を図ります。また、産業間や地域との連携の場を持ち、地域全体の活性化をめざします。

現状の問題・課題

◇播磨町商工会では推奨品認定を行っているが、販売促進が必要となっている。

◇兵庫南農業協同組合、播磨町漁業協同組合、商工会、播磨町が連携し、人的・知的財産や特色ある資源を活用し、新たな付加価値を生み出す取り組みを推進しているが、具体的な事業への取り組みが期待される。

◇企業誘致策として工場立地法の緑化面積率等を緩和して工場の敷地を有効活用しているが、今後はまとまった遊休地が少なく、大規模な誘致が困難となっている。

◇播磨町商工会と連携し創業支援を行っているが、新規創業者数への周知が必要である。

◇勤労者の福利厚生の充実のため、町が出資している「あいわーくかこがわ」や「播磨町労働者福祉協議会」への加入促進が必要である。

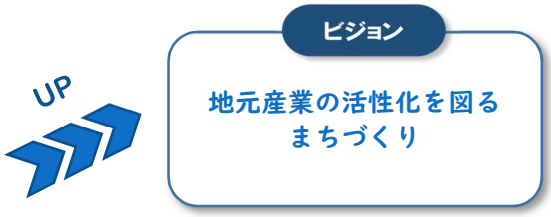
基本目標

目標１　地域産業の活性化を図る

商工会を支援し、四者協定を活用することで地元産業の活性化を推進します。

分野における住民満足度

	現状（2019）
商工業の振興・勤労者福祉の満足度	45.6 点



関連計画

□地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく基本計画
□播磨町導入促進基本計画
□播磨町創業支援等事業計画

基本政策 3

多様な個性と夢をみんなでつなぐふるさと

方向性

１．人を育むまちへ（教育・文化）

２．人がつながるまちへ（協働・行政）

1. 子どもたちの学びの充実

ビジョン　**豊かな心と生きる力を育むまちづくり**

すべての子どもたちが将来、大人になった時に必要とされる資質が何かをしっかりと見据え、地域社会で活躍するための確かな学力を保障するとともに、豊かな心と健やかな体の育成に努めます。

また、学校園・家庭・地域の連携・協力を強化し、社会全体で子どもたちの学びや育ちを支援するとともに、学力向上に向けた教育環境の整備をさらに進めます。

現状の問題・課題

◇幼小中学校において系統立てた学習指導およびさらなる学力向上に向けた取組が必要である。

◇地域住民の学校運営への参画の新たな仕組みが必要である。

◇学校だけでは解決できない課題に対して、保護者や地域との連携や協働が重要となっている。

◇核家族化やライフスタイルの多様化、情報化の進展など、青少年を取り巻く環境が変化する中で、健やかに成長できる環境づくりが求められている。

◇ICT 環境の充実など新たな環境整備が必要となる。

◇老朽化した学校施設の改修が続く。

基本目標

目標１　「豊かな心」と「生きる力」を育む教育を推進する

家庭や地域との信頼関係を確立させ開かれた学校づくりを進めます。また「知・徳・体」において、すべての子どもたちが、よりよい未来を生き抜く力を育んでいきます。

目標２　家庭や地域社会との連携・協力を深めながら学校教育を充実させる

地域人材を活用して、子どもたちの学びをより充実させます。また、学校運営協議会を設置することにより、地域の連携・協力を図り、地域全体で子どもたちの学びを推進します。

目標３　学習環境の整備を進める

学**校施**設の改修を計画的に進めるとともに ICT 環境などを充実し、学習環境を整えていきます。

分野における住民満足度

子どもたちの学び・青少年の健全育成の満足度	現状（2019）
	58.3 点

UP

ビジョン

豊かな心と生きる力を育むまちづくり

関連計画

□播磨町教育大綱
□播磨町教育振興基本計画
□播磨町教育施設長寿命化計画

2. 生涯学習の充実

ビジョン

だれもが夢や目標に向かい生きがいを持って暮らせるまちづくり

いつでも、どこでも、だれでもがいつまでもスポーツや芸術・文化に親しみ、すべての住民が元気で活動的な生活スタイルを楽しむことができる環境提供に努めます。

また、個人や団体などの自主的な活動を支援するとともに、地域コミュニティの活性化を図り、活力あるまちづくりを進めます。

現状の問題・課題

◇社会教育施設の計画的な改修と施設整備を行う必要がある。

◇グローバル化による生涯学習に対する関心の高まりや学習要求の多様化にこたえるため、自ら学ぶ機会と学習する場の提供と支援が必要となっている。

◇生涯学習関係団体の構成員の固定化と高齢化が進んでおり、各団体の活性化や活動継続への支援が必要となっている。

◇健康意識やスポーツへの関心が高まる中、健康寿命の延伸を図るため、生涯にわたってスポーツに親しむことのできる機会の提供と環境の充実が求められている。

基本目標

目標１　あらゆる世代への学習と環境を提供する

生涯学習の拠点となる社会教育施設の利用を促進するとともに、生涯学習を発信するサークルや団体による活動を推進します。

目標２　生涯スポーツ活動を振興する

継続的にスポーツ活動の機会や場を提供し、住民のスポーツ参加を促進します。

目標３　芸術・文化活動を振興する

文化団体の活動を支援し、芸術・文化の振興を図ります。

分野における住民満足度

生涯学習、スポーツ活動、文化・芸術活動の満足度	現状（2019）
	53.2 点

UP

ビジョン

だれもが夢や目標に向かい生きがいを持って暮らせるまちづくり

関連計画

□播磨町生涯学習推進計画
□播磨町スポーツ推進計画
□播磨町教育大綱
□播磨町教育振興基本計画

3. 歴史・文化遺産の保存と活用

ビジョン　**歴史・文化遺産を活用した魅力あるまちづくり**

貴重な歴史的資産や文化財を保存するとともに、地域の伝統的な行事や文化の継承・発展の支援に努めます。

また、大中遺跡をはじめ、ジョセフ・ヒコや今里傳兵衛などの歴史的資産や文化財の活用を図り、ふるさとへの愛着や誇りを育むまちづくりを進めます。

現状の問題・課題

◇貴重な文化的資産の保存・管理を進めるため、地域に根ざした調査研究・資料収集等を行い、文化財を適正に保存する必要がある。

◇住民の文化財保護に対する意識の高揚が必要である。

◇各種行事を支える指導者やボランティアの高齢化が進んでおり、新たな担い手の育成が必要である。

基本目標

目標１　播磨町の文化・歴史を発信する

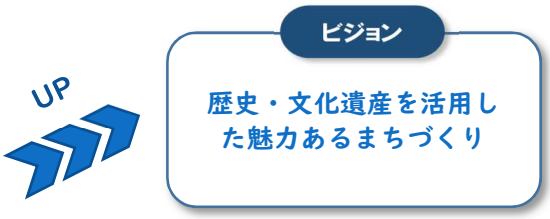
県立考古博物館との連携を深め、文化財保護の意識高揚を図るため、積極的な情報発信を行います。

目標２　文化財保護・愛護意識の醸成を図る

歴史・文化財の体験活動や研修を通して、興味・関心意欲を高め、保護活動への啓発を図ります。

分野における住民満足度

	現状（2019）
歴史・文化遺産の保存と活用の満足度	59.0 点



関連計画

□播磨町教育大綱
□播磨町教育振興基本計画

4. 多文化共生・人権教育の推進

ビジョン　**多文化共生と人権・平和を尊重するまちづくり**

互いを理解し、尊重する人を育むことができるよう、多様な文化に触れ、人権を理解し、思いやりのある社会をめざすとともに、平和を希求し、心安らぐ社会の実現に努めます。

現状の問題・課題

◇グローバル化が進んでいるが、多様な言語や特性に対応が必要となっている。
◇他の地域の文化を体験する機会や多文化共生社会の実現に向けた交流事業が少ない。
◇SNS による誹謗中傷など人権を損なう事象に関する理解度が不足している。
◇家庭や学校、地域社会、職場などあらゆる場において人権教育を継続する必要がある。
◇男女平等意識の高揚に努め、ジェンダーフリーへの理解をさらに進める必要がある。
◇LGBT など性的マイノリティの人に対する配慮が求められている。

基本目標

目標１　互いの文化を理解し、尊重できる社会をめざす

国際交流や市町交流を行い、多様な文化に触れることで、互いの理解を深め、多文化共生社会の実現をめざします。

目標２　人権を尊重し、思いやりのある社会をめざす

人権教育を推進するために、学習内容の充実と学習機会の提供を図り、住民に対し啓発活動や広報活動に努めます。

目標３　平和を希求し、心安らぐ社会をめざす

「核兵器廃絶のまち」宣言を踏まえ、戦争の教訓を風化させることなく次世代への継承や、平和に対する意識の向上を図ります。

分野における住民満足度

人権・平和教育、国内・国際交流の満足度	現状（2019）
	50.7 点

UP

ビジョン

多文化共生と人権・平和を尊重するまちづくり

関連計画

□播磨町男女共同参画行動計画
□播磨町人権教育基本方針
□次世代育成支援・女性活躍推進に関する播磨町特定事業主行動計画
□播磨町教育大綱
□播磨町教育振興基本計画

方向性２　人がつながるまちへ（協働・行政）

1．地域活動の活性化と住民協働の推進

ビジョン　**みんなが主役で、みんなで協働するまちづくり**

住民、団体、事業者、行政が協働により、それぞれの強みを活かして地域が主体となったまちづくりを行い、人がつながり地域が活力にあふれる社会をめざします。また、必要な情報が行き渡る社会をめざします。

現状の問題・課題

◇人口減少や少子高齢化の進展、働き方の変革により、自治会役員の担い手不足や地域の活力の低下が加速することが懸念される。

◇ライフスタイルや価値観の多様化に伴い、地域活動や自治会活動に参加する余裕がない人や無関心な人が増えている。

◇地域が主体となってまちづくりに取り組み、地域課題を解決できるよう、人材の育成を支援する必要がある。

◇住民のニーズに対応した情報発信を行う必要がある。

基本目標

目標１　地域が活力にあふれる社会をめざす

自治会等団体活動の運営に関する助言を行い、地域活動の支援を行うとともに、地域活動の拠点となるコミュニティセンターや自治会公民館等の活用を促進します。

目標２　地域と行政の協働によるまちづくりを展開する

地域課題を解決できる地域人材の育成を支援し、NPO 法人等多様な主体による協働のまちづくりを進めます。

目標３　必要な情報が行き渡る社会をめざす

情報を届ける対象を明確にした上で、最も効果的な媒体や表現により情報を発信します。

分野における住民満足度

地域活動の活性化・住民参加、地域情報化の満足度	現状（2019）
	52.3 点

UP

ビジョン

みんなが主役で、みんなで協働するまちづくり

2. 健全な行財政運営

ビジョン　**持続可能な行財政運営を進めるまちづくり**

積極的な自主財源の確保と効率的な予算執行を両立し、健全な行財政運営を進めることで持続可能な自治体として、次世代へつなげることができる行政をめざします。また、優れた人材を確保し、新しい時代に対応した人材育成を効果的に行う行政をめざします。

現状の問題・課題

◇経常収支比率の推移を注視する中で、新たな住民ニーズに対応できる財源確保が難しくなっている。

◇滞納整理の早期着手に努め、収納率の向上をめざす必要がある。

◇多様な歳入確保の手段の検討が求められている。

◇公共施設総合管理計画個別計画に基づく計画的な維持管理・更新・改修等による財政負担の軽減・平準化を図る必要がある。

◇効率的かつ効果的に事業を実施するため、人材育成はもとより、継続的な業務改善の取組や生産性向上の工夫を行うとともに、ICTの利活用や PPP/PFI 等の民間資金活用についても検討する必要がある。

◇救急医療事業や常備消防事務、ごみ処理といった広域連携を活用した公共施設・行政サービスの推進が求められている。

◇IoT、RPA、AI、ビッグデータといった先端技術を積極的に取り入れ、複雑化・多様化した行政課題の解決に活用していくことが求められている。

基本目標

目標１　積極的な自主財源の確保を行う行政をめざす

既存の歳入確保手段の充実に加えて、新たな手段を確保し、持続可能な行財政運営を進めます。

目標２　効果的・効率的な行財政運営を行い、次世代につなげる行政をめざす

行政課題や行政需要に対応できる柔軟な組織体制を確立するとともに、播磨町公共施設総合管理計画（個別計画）に基づく適正な維持管理を行うなど、健全な行財政運営を図ります。また先進的なデジタルテクノロジーを積極的に活用することで、業務の効率化を図るとともに、利便性の高い住民サービスの提供に努めます。

目標３　優れた人材を確保し、育成する行政をめざす

計画的に職員を採用し、時代の変化に応じた人材を育成することにより、総合計画の実現に努めます。

分野における住民満足度

	現状（2019）
健全な行財政運営、広域行政の満足度	51.5 点

UP

ビジョン

持続可能な行財政運営を進めるまちづくり

関連計画

□播磨町行政改革大綱
□播磨町行政改革実施計画
□播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略
□播磨町人口ビジョン
□播磨町公共施設等総合管理計画
□播磨町公共施設等総合管理計画（個別計画）
□播磨町人材育成基本方針